



BLUE-SKY

「自立」「敬愛」「創造」の精神のもとに
夢や志に向かって主体的に学ぶ生徒の育成発 行 者
長崎市立橘中学校
校 長 徳永 達樹

さあ挑戦の 2 学期！

9月1日、夏休みを終えて登校した生徒の表情は様々でしたが、そこは橘中！私の想像以上に明るい笑顔、明るい挨拶が多く頼もしく感じました。始業式では、各学年の代表生徒が1学期の反省や2学期の抱負を中心に発表してくれました。その中で3年生代表の さんが話してくれた2学期の抱負を紹介します。

○学習面における「先を見据えた自己管理」

テストや提出物の期限から逆算して継続的に日々の復習を重ねていきます。わからないことはその日のうちに解決し、常に先手を取って行動していきたい。

○生活面における「誘惑に負けないメリハリのある時間の使い方」

部活を引退してからの気の緩みを断ち切り、ダラダラと過ごしている時間を減らします。生活リズムをもう一度引き締め直し、気持ちをしっかりと切り替えて、日々の時間の質を高める努力をしていきます。

ただなんとなく・・・ではなく、自分と対話し、コントロールする。簡単ではないですが、心から頼もしいと感じる発表でした。私は始業式の中で、「失敗を恐れず挑戦できる前向きな人になってほしい」という話を最後にしたのですが、挑戦はほとんどの場合、「自分への挑戦」だと思います。 さんはまさに自分自身を客観的に見て挑戦しようとしているのだと思います。実際動いてみるとハードルが高いことに気づくこともありますが、「思いを立てる」ことが実は最大のハードルです。2学期という節目に全生徒が何か一つでも思いを立ててほしいと期待しています。

保護者の皆様には、生徒がちょっとしたことでも何かに「挑んでいる」と感じるがありましたら、時に背中を押したり支えたりして寄り添っていただければと思います。

主体的かつ建設的な橘中生をめざして

橘中の生徒には、周囲の様々なことに不平不満をこぼすのではなく、自分にフォーカスするとともに自分で環境や状況を創っていく、そのような人に成長してほしいと考えています。学校も、学級も、授業も、私たち大人と子どもたちが一緒になって創っていくものです。自分の力では何も変わらない・・・子どもたちには学級、学校、ひいては社会全体にそのような閉塞感をもってほしくないと願っています。

どうにか橘中生の主体性やチャレンジ精神を引き出していきたいと考えていますが、まず第一弾として今週金曜日に弁護士を招聘し、校則の見直しを考えるワークショップを実施していただきます。当然、校則の改廃権限は私、校長にあります。生徒や学校の安全を守るために細かく設定されているもので、根拠のない個人の勝手な意見で変更することはありません。ただ、橘中の生徒には、よりよいルールとは何か、どうしたらみんながより安心・安全で楽しく学校生活を送ることができるのか、主体的に考えてほしいと思います。

橘中生なら、建設的に物事を考え、よりよい橘中をめざし、様々なアイデアを出してくれるのではないかと期待しています。

電話対応について

本校では、職員の勤務時間は8：15～16：45となっておりますが、部活動の指導にも協力いただき、長時間の時間外勤務が発生している状況です。教職員の長時間勤務の改善と教育の質の向上をめざし、今後は電話対応を17時までとさせていただきます。（17時に留守番電話の設定をいたします。）

教職員が心身ともに健康な状態で授業準備や生徒一人一人への支援に十分な時間を確保できるよう、保護者の皆様におかれましては、学校への御連絡をできる限り勤務時間内をお願いいたします。

子どもたちの健やかな成長を支えるため、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、生徒の生命や安全に関わる緊急の事案が発生した場合は、警察（110番）や消防・救急（119番）などの関係機関への速やかな連絡をお願いします。

～こぼれ話～

ほんとに少しずつですが、秋の気配が感じられます・・・。自分も中学時代に走って、かなり厳しいトレーニングを積んでいた？積まされていた？こともあり個人的にはこの気配を感じると今でも「駅伝」が頭に浮かびます。

本校も希望するたくさんの生徒がチャレンジしてくれています。1秒の記録更新にこだわって努力した日々は自分の中に必ず財産として残ります。心から応援しています！